

進路だより

平成26年7月18日
大阪府立守口支援学校
進路指導部 発行第1号

2週間頑張った校内・現場・体験実習

高等部は6月9日（月）から2週間、木工・窯業・紙工・縫製・S4の5種目に分かれて校内実習を行いました。木工班はペン立て、小物入れ、窯業班はカップやお皿、箸置きなど、紙工班は和紙シール、ポチ袋、一筆箋、メモ帳など、縫製班はスウェーデン刺繍のコースター、ドレスタオル、ブックカバー、巾着と、みんなで分担し、協力して製品作りを行いました。

校内実習の最終日は即売会、どのお店にも一生懸命作られた製品がずらりと並びました。S4の生徒達が2週間かけて紙粘土から作ったたくさんのロールケーキも並べられ、即売会に彩りを添えてくれました。そして午前11時、鐘の合図とともに即売開始！たくさんの保護者の方々がお越し下さり、大賑わいの即売会となりました。

午後の反省会では各種目ごとにジュースでお疲れ様の乾杯！！ひとりひとりが自分の目標に向かって頑張った充実した2週間となりました。

保護者の皆様、即売会ではたくさんの製品のお買い上げありがとうございました。



その間、2年生B組の生徒は、体験実習として2週間株式会社エルアイ武田等の企業に実習へ行きました。初めての2週間続きの実習で、緊張しながらでしたが無事やりとげることができました。

3年B組の生徒は、卒業後の進路を意識して2週間企業への現場実習や、2泊3日の交野自立センターへの実習へ行ってきました。卒業後、自分はその場で活動し続けることができるか？周りの方と一緒に働きたいと思っただけか？切実に考えながらの実習でした。

中学部 体験学習

6月13日（金）生活の時間を使って、中学部3年生は、門真市にある「グレース工房」と「ジェイ・エスステージ」へ、福祉事業所見学に行ってきました。

グレース工房では、とうがらしの袋詰めや箱作りの作業を、ジェイ・エス・ステージでは、しょうゆ差しのバリ取りやミュージックケアを体験しました。

先輩の通っている福祉事業所ということもあり、進路先をととても身近に感じることができました。「働く」ということの意味も具体的に持つことができた生徒もいて、大変有意義でした。



2014 同窓会

5月11日（日）に第18回同窓会定例総会が体育館で行われました。平成7年度卒業の方をはじめ同窓生は83名、保護者、教員を加え100名以上の人々が集まりました。総会では昨年度の卒業生の紹介があり、暖かい拍手で同窓会に迎えられました。総会終了後はレクリエーションがありました。ジュースやお茶を飲んだり、お菓子を食べたりしながら、バスケットボールやストラックアウトで懐かしい友と汗を流す人、得意のカラオケを熱唱する人、おしゃべりに興じる人など、楽しい時間はあっという間に過ぎました。最後に全員で記念写真を撮影し、再会を約束しての解散となりました。

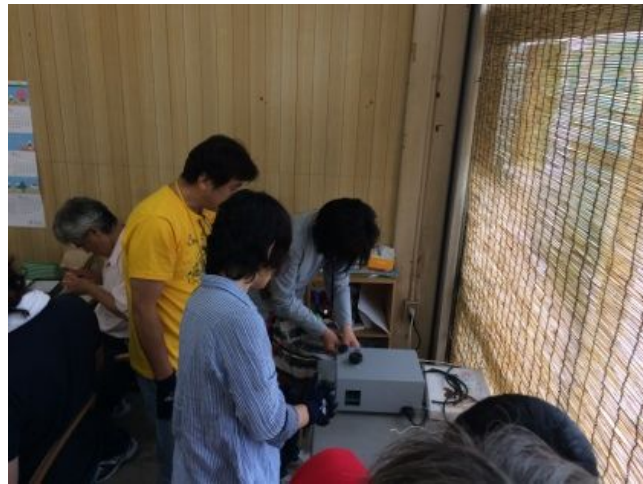
次回同窓会は11月9日（日）に実施を予定しています。



☒ PTA施設見学会

6月中旬から7月にかけて守口・門真市の福祉事業所を中心に見学会を実施しました。今年は、近隣他市の施設にも新しい動きがありましたので、大東・寝屋川市の事業所への見学も実施しました。日数にすると9日間で11ヶ所の事業所の見学を設定しました。

見学には自転車で来られる方がほとんどですが、梅雨の季節というのにほとんど雨に降られることがありませんでした。



見学会の多くは①まず事業所の概要を説明していただき②ひと通り見学し③質問の時間を設けていただく…という流れです。「守口・門真市福祉施設案内冊子」を見ながら説明を受けて、その後の質疑応答の時間では、いろんなケースを想定した質問が出ていました。

新しい事業所や、来年度に施設を拡大する予定の事業所に対しては、保護者の関心も高く、見学の人数が多かったです。

守口市の就労継続支援A型、B型の「就労継続支援ひかり」は、千羽鶴を作るための糸通しなどの内職作業をされています。それらの作業に加えて、A型の利用者の方は電線剥離やビーズアクセサリ作りをされていました。最近では、洗車事業を始められ、宣伝用のチラシも作成して、地域の方からも好評で、利用が増えてきているそうです。作業時間と休憩時間とのメリハリがあり、作業中はピリッとした空気の中で取り組み、休憩時間は皆さんで談笑されていました。

大東市の「青い鳥工房」では、さをり織りや紙袋の取っ手付けの軽作業などを見学しました。生活介護・就労継続支援B型の多機能型の事業所で、平成27年4月には、近隣に第2青い鳥が新設される予定です。B型では、豆腐の製造販売や清掃作業をされています。さをり織りでは、職人さんのように動物や文字のデザインで、マフラーやのれんを編みこむ方がいて、注文が入ると高額な工賃になることもあるそうです。他の方々も、自分のペースで器用にシャトルを操って、落ち着いた雰囲気作業に取り組まれました。

参加された保護者の方は、高等部の保護者が多いですが、小学部や中学部からも参加いただきました。見学会は毎年実施していますので、実際に事業所を訪れることで、立地環境やその場の雰囲気を感じる良い機会になると考えています。

また秋には保護者からの希望をもとに見学会を実施する予定です。

～見学の感想～

- 施設の方が、わかりやすいパンフを作っておいたので有難かったです。見学会に参加してもういくつ回ったかわかりませんが、それぞれの施設によって、かなり内容、支援体制も違うので勉強になります。今回のところは、わが子が行っても楽しく、そして有意義に過ごせるのではないかと感じたところでした。これからもいろいろなところに足を運んで、親としてできるだけことはしていきたいと思っております。



☒ 高3福祉懇談会

5月27日（火）に定例の高3福祉懇談会を開催しました。高3保護者の方と地域関係機関（大阪府障がい者自立相談支援センター、守口市障害福祉課、門真市障がい福祉課など）に参加して頂き、来春の卒業後の進路決定に向け、顔合わせや意見交換を行いました。

今年度より、地域ですでにスタートしている「計画相談」への対応を視野に入れ、守口市・門真市の7つの相談支援事業所にも出席頂き、今後の動向やプランニングの基本的な仕組みについてお話を聞かせて頂きました。

時代が進む中、福祉制度もよりよく展開していこうとしています。このような新制度が本校の進路相談とうまく連動し、生徒個々のよりよい社会参加に結びつくとできるように地域での仕組みづくりに力を入れていきたいと考えています。

☒ 施設案内冊子の発行

6月初旬に、守口、門真市内の日中活動系の福祉事業所の情報をまとめた施設案内冊子第5版を全校配布しました。今年は、ライフサポートみどり（守口市：生活訓練）が新規立ち上げとなっています。これからの地域福祉施設の動向が気になるところです。今後も日々の地域連携の中で正確かつ迅速な情報提供に努めたいと思っています。保護者の皆様も、この冊子を有効活用下さい。

なお、冊子発行後にステラ守口（守口市：就労継続支援A型）という事業所が新規立ち上げ（平成26年5月開所）されたこと守口市障害福祉課より報告を受けましたので、お知らせしておきます。